

小島城マップ



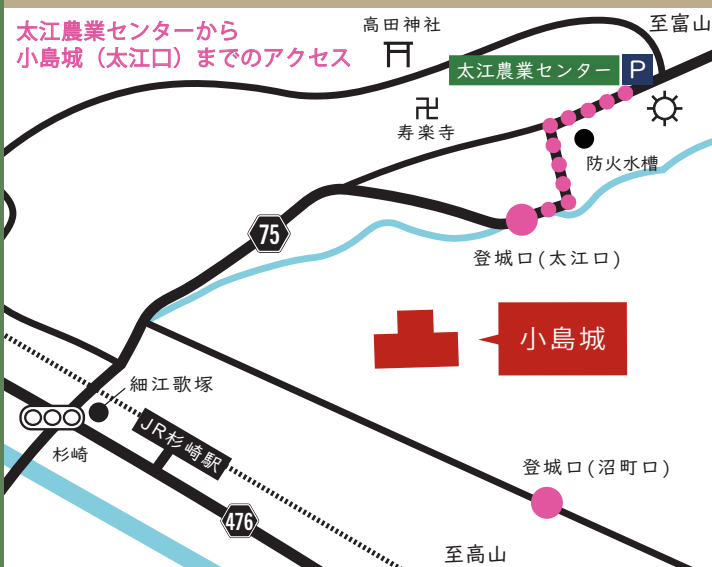
小島城へのアクセス

【公共交通機関 JR高山本線「杉崎」駅】

「太江口」まで徒歩20分。「沼町口」まで徒歩15分。
※「沼町口」付近には駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。

【お車】

太江農業センター(飛騨市古川町太江2570)に駐車。
「太江口」まで徒歩5分。



飛騨朝霧街道(県道75号)を高山方面に進み、「史跡小島城跡登山道」の看板を目印に左折します。150m直進して突き当たりを右折し、さらに100m進むと、左手に太江口があります。

みどころ POINT



1

主郭

主郭は三角形状で、金森氏時代の地面の下には礎石建物があり、南側斜面には石垣もあったと分かりました。また、その下層からは小島氏時代の遺構が見つかっています。



2

算木積みの石垣

「算木積み」と呼ばれる技法で築かれています。長辺と短辺を交互に組み合わせるこの技術は、金森氏による改修とされ、従来の山城には見られなかったものです。



3

虎口

幅広い通路を直進し、突き当たりで右に曲がるL字型の「櫛形虎口」です。敵の侵入を防ぐため、進行方向を変えさせる防御構造で、敵が直進できないように設計されています。攻撃を防ぐために重要な役割を果たしていました。



4

櫓台

円形の櫓台からは古川盆地を一望できます。ここでは多くの土師器皿が見つかっています。当時は景色を楽しみながら宴席が開かれていたのかもしれません。



5

堀切

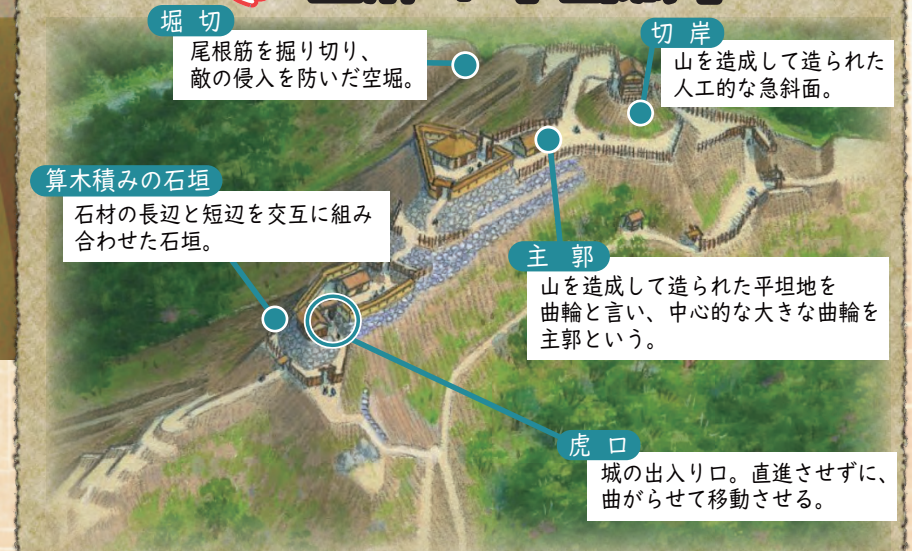
敵が容易に城に近づけないよう、地面を掘り、深い溝を作った人工の堀です。小島城では、地形を活かして防御力を強化するために、「堀切」が設けられています。



登城時の注意事項

- ゴミは各自で持ち帰るなどして大切な文化財の保全にご協力ください。
- 各山城跡周辺には、基本的にトイレや商店はありません。事前に道の駅等でお済ませください。
- 山城の多くは個人の方が所有する山です。山での火の使用は禁止です。
- 倒木や崩落等で通行できない場合は無理をせずに引き返してください。
- 登山道が整備されていない山城の来訪はご遠慮ください。

図解『小島城』



発掘調査から読み解く小島城の歴史

小島城は、姉小路氏の一族・小島氏の居城で、宮川と太江川に挟まれた山頂に築かれました。16世紀には三木氏の配下となり、金森氏が入城後、増島城完成まで拠点として利用されたとされています。発掘調査では、主郭で小島氏時代の曲輪や堀切などの土造りの遺構を確認したことに加え、金森氏時代の石垣や櫛形虎口を確認しました。

国史跡姉小路氏城跡の歴史を目撃せよ！



飛騨市古川町周辺のおもな城館跡の位置

国史跡姉小路氏城跡とは

姉小路氏城跡は、古川城跡、小島城跡、野口城跡、向小島城跡、小鷹利城跡の5つの城跡の総称です。調査では、姉小路氏が古川盆地を囲む山上に城を築き、その後三木氏や金森氏が改修したと確認されました。これらの山城群の築城や改修の様子から、時代とともにこの地域の支配勢力がどのように変わっていったのかを知ることができます。令和6年2月21日、国史跡に指定されました。

小島城 復元イラスト



金森氏が飛騨に入国した直後の様子を描いています。南側では、高山城や増島城と同じように1～3の数字を冠した区画や用水路を整備しています。小島城の城下町は完成せず、増島城の建設に移行したと考えられています。

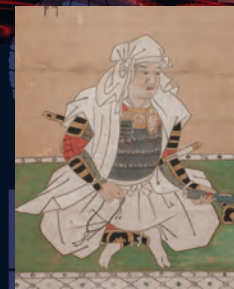
飛騨古川の礎を築いた武将



姉小路基綱画像（個人蔵）

姉小路氏時代

姉小路氏は公家の一族です。南北朝時代に「飛騨国司」と称された藤原家綱の一族が飛騨に入り、古川盆地周辺を治めました。15世紀前半になると、一族は古川氏・小島氏・向氏の3つに分かれます。古川氏は京都で活動し、小島氏と向氏は飛騨を拠点にしました。特に、古川氏の基綱や済継は宮廷を代表する有名な歌人として知られています。



三木自綱画像（千光寺蔵）

三木氏時代

三木氏はもともと守護・京極氏や守護代に仕える立場でしたが、南飛騨を拠点にしながら勢力を広げ、高山盆地や古川盆地も支配しました。三木良頼の時代には、姉小路氏の力を上回り、正式に古川氏の名を継ぎます。さらに、江馬氏との「八日町の戦い」に勝利したことで、飛騨の中でも特に強い武将となり、地域の支配を確立しました。



金森長近画像（素玄寺蔵）

金森氏時代

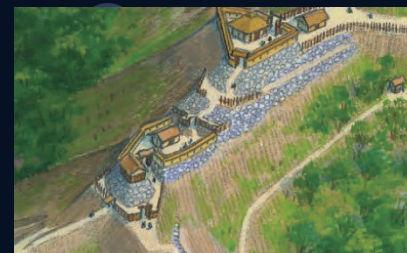
金森氏は美濃・土岐氏の一族とされ、長近は若くして織田信長に仕えました。天正13年（1585年）に飛騨へ侵攻し、三木氏を滅ぼして飛騨国を支配。その後、豊臣秀吉に仕えましたが、秀吉の死後「関ヶ原の戦い」では東軍として参戦し、徳川家康の勝利に貢献しました。長近の死後は子の可重が跡を継ぎ、金森氏は6代にわたって飛騨を統治しました。

見どころの解説

石垣

注目！

姉小路氏城跡の中でも特に保存状態が良い石垣です。

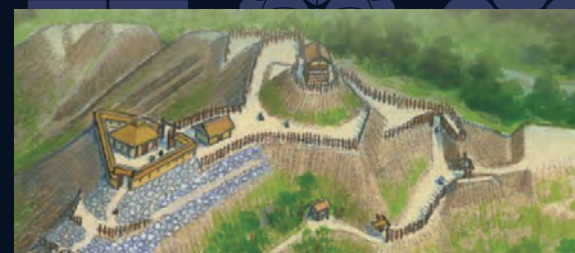


算木積みの石垣

櫓台

注目！

石垣の分布や地籍図を用いた調査により、金森時代にかけて拠点が南側に移動したことがわかりました。



小島城主郭南側斜面の石垣

南北朝

室町

安土桃山

江戸

1378年

姉小路氏

家綱以降、飛騨国司と称される

【古川氏】（古川城）

【小島氏】（小島城、野口城）

【向氏】（小鷹利城、向小島城）

1411年

LOSE 【国司】

姉小路氏

VS 【守護】

WIN 京極氏

1560年

三木氏

姉小路氏の一家・古川氏の名跡を継ぐ

1585年

金森氏の飛騨侵攻

金森氏

金森長近以降6代続く

周辺情報



道の駅アルプ飛騨古川

周辺の観光情報やイベントパンフレットが充実し、旅の情報収集に最適なスポット。トイレや休憩スペースも完備され、快適に過ごせます。産直市場では新鮮な特産品が揃い、お食事処では地元の味が楽しめます。ぜひお立ち寄りください。

（所在地）飛騨市古川町上町1348-2
小島城から車で10分



細江歌塚

姉小路基綱と済継の功績を称え、有志によって建てられた碑。裏面には両氏の和歌が刻まれています。

（所在地）飛騨市古川町杉崎138
小島城から車で5分



高田神社

飛騨国司に任命された姉小路家綱は、高田神社を崇敬し、隣接して館を設けて、政治の中心地にしたとされます。

（所在地）飛騨市古川町太江2669
小島城から車で5分